長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　国語科（国際教養科）

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	精選古典Ｂ　新版（東京書籍）						
副教材等	体系古典文法（数研出版）新版四訂新国語便覧（第一学習社） 古文ウィニングクリア２（尚文出版）						

１ 担当者からのメッセージ

・２年生では１年生で学んだ基礎的な国語の力を活用することを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読み、語句の意味を調べておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・自分の考えを整理し、他者に表現することができる。
・互いの意見を尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、古語や文法などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
	随筆	【古文】 教材：方丈記「安元の大火」枕草子「中納言参り給ひて」「雪のいと高う降りたるを」	○			◎	○	a：作品の書かれた当時の時代背景や作者について調べている。 d：登場人物の行動と心理の推移を理解している。 e：重要古語や文法事項を理解し文学史的知識を持っている。	a、d、e：行動の観察と確認
	史伝	【漢文】 教材： 史記「鴻門之会」	○			◎	○	a：「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 d：脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。 e：「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	物語	【古文】 教材： 源氏物語「桐壺」「若紫」	○			◎	○	a：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d：人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の点検と確認
	史伝	【漢文】 教材： 史記「四面楚歌」	○			◎	○	a：「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 d：脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。 e：「史記」の内容について興味を持ち人物の心情を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e：記述の確認及び定期考査
2学期	物語	【古文】 教材： 大鏡「花山院の出家」「道長、伊周の競射」	○			◎	○	a：作品の書かれた当時の時代背景について調べている。 d：登場人物の行動と心理の推移を理解している。 e：重要古語や文法事項を理解し文学史的知識を持っている。	a、行動の観察及び記述の点検 d、e：行動の観察と確認

	史伝	【漢文】 教材: 史記「項王自刎」	○			◎	○	a: 「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 d: 脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。 e: 「史記」の人物像に迫りその心情を理解しその背景も考える。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	日記	【古文】 教材: 更級日記「門出」「物語」	○			◎	○	a: 日記文学について、主要な作品や作者などを調べている。 d: 登場人物の行動と心理の推移を理解している。 e: 「更級日記」について、文学史的知識を持っている。	a、d、e: 記述の点検と確認及び分析
	文章	【漢文】 教材: 「桃花原記」	○			◎	○	a:この作品の成立した時代背景を調べ当時の人々の理想とした生き方に関心を持つ。 d:全文を書き下し文にし読み深めることにより内容を正確に把握する。 e:当時の中国人の理想郷を理解し、現代を見つめるきっかけにする。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
3学期	和歌	【古文】 教材:「万葉秀歌」「王朝秀歌」	○			◎	○	a:和歌の内容理解を深め、和歌の変遷を調べている。 d: 和歌のリズムを意識しながら、正確に音読している。また、各々の和歌に表現された心情や情景を的確に捉えている。 e: 詩歌の韻律や技巧を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	文章 思想	【漢文】 教材:「性之善也、猶水之就下」孟子 「人之性悪」荀子	○			◎	○	a:作者の生きた時代背景を踏まえその作品の真意を探る。 d:中国古代の思想を学び、その教えが現代にも通じることを知る。 e:現代の課題に目を向けその解決策などを中国思想から模索する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。